

薔薇便り

No.250

2022年 7・8・9月号

ささえられて70年



目次

事務局だより	1~2
春のばら展の報告	3
九州ばら懇話会福岡大会に参加して	4~5
ばら会と私	6
花庭訪問	7
九州ばら懇話会福岡大会の講演内容	8~11
月々の手入れ	12
コガネムシとカナブン	13
編集後記	14



事務局だより



技術指導部講習会参加者募集

熊本ばら会ではコンテストを行っていません。ばらの花に優劣を付けずにばらを楽しもうとの方針からです。しかし、九州ばら懇話会や日本ばら会のコンテストに参加して自己の栽培技術の向上を図ることは禁止していません。

そこで、以下のコンテスト参加を目標として栽培技術の特別講習を行いますので参加者を募集します。

講師は、世界バラ会議大阪大会金賞受賞、日本ばら会コンテストで一等を何度も受賞されている技術指導部部長の福島 康宏さんです。

参加希望の方は事務局（正村）へご連絡ください。

- ① 九州ばら祭りのコンテスト参加
- ② 2025年5月開催の第20回世界バラ会議（広島県福山市）のコンテスト参加



令和4年度 第3回ばら教室ご案内

日時：8月28日（日）13時30分～15時30分頃まで

場所：フードパル熊本 食品交流会館 会議室

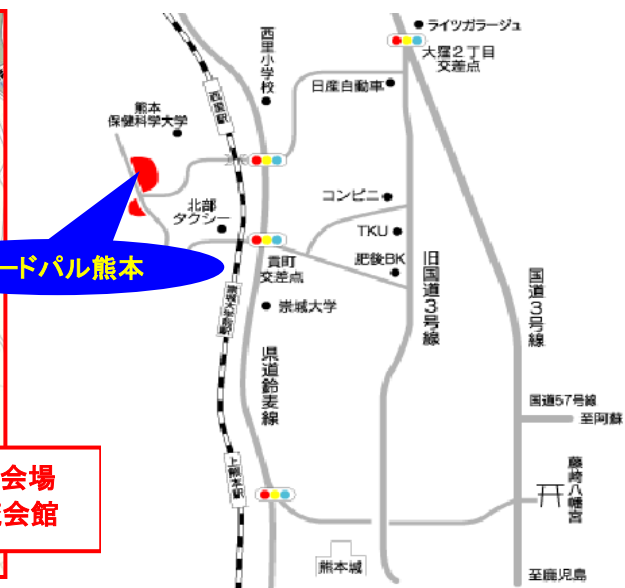
熊本市北区貢町 581-2 TEL096-245-5111

講師：技術指導部 福島 康宏

※ばら教室にはお配りしています「ばらの手入れ」をお持ちください。

講習内容は秋の開花に向けての剪定や防除です。個々のご質問も受け付けます。

●フードパル熊本 食品交流会館





令和4年度 第4回ばら教室ご案内

日時：10月2日（日）13時30分～15時30分頃まで

場所：熊本市動植物園 緑の相談所 2F

熊本市東区健軍 5-14-2 TEL096-368-7321

※植物園入り口から入らずに左の緑の相談所入口から入って2階です。

入園料は不要です。駐車場に駐車される方は駐車料が必要です。

講師：技術指導部 福島 康宏

※ばら教室にはお配りしています「ばらの手入れ」をお持ちください。

講習内容は秋花に向けての防除と開花後の手入れ。個々のご質問にもお答えします。

●動植物園「緑の相談所」



新入会員紹介

新年度になり入会された方をご紹介します。 ※敬称略、順不同

野口 和美	(熊本市北区太郎迫町)	西村 英子	(長崎県北松浦郡佐々町)
山崎 真一	(石川県金沢市弥生)	大塚 照代	(合志市須屋)
小重 和子	(合志市須屋)	小重 萌実	(合志市須屋)
豊田 泉	(熊本市東区秋津新町)	浦上 裕美子	(中央区水前寺)
長 万紀子	(熊本市中央区出水)	川崎 園子	(熊本市中央区出水)
田川 しのぶ	(熊本市中央区九品寺)	高田 康夫	(熊本市中央区国府)
大島 公子	(熊本市中央区坪井)		



第113回春のばら展の報告



事務局

沖縄復帰50年の節目の年に、悲惨な戦争を繰り返さないことを願って「平和のばら」をテーマに展示を予定していましたが、そこにウクライナへのロシア軍侵攻が起きてしまいました。そこで、特別展示にはウクライナの国旗をばらで表現して早い停戦の願いを込めました。国旗の周囲に平和の願いを込めて命名された「アンネのばら」「祈り」「セントコルベ」「のぞみ」の鉢植えを展示しました。

地球温暖化で開花時期が早まっていますので、切り花や鉢植えがそろうのか心配しましたが、沢山の切り花と鉢植えや盆栽で会場をいっぱいにすることができました。会員の皆様のご協力でコロナ禍以前より多くの来場者でした。





「九州ばら懇話会福岡大会」に参加して

正村 正輝

2016年の熊本地震で2017年の熊本大会は休会となり2018年5月に熊本大会が開催されました。その後隔年開催となっていた福岡大会は、今度はコロナ禍のため休会となってしまいましたが、今年ようやく開催されることになりました。熊本大会から4年ぶりの開催で各ばら会の方々とお会いするのは久しぶりです。

熊本ばら会からは前田会長ほか4名の参加で、他のばら会も参加者は少なめでしたが、新たに平戸ばら会が懇話会に加入され4名の参加がありました。

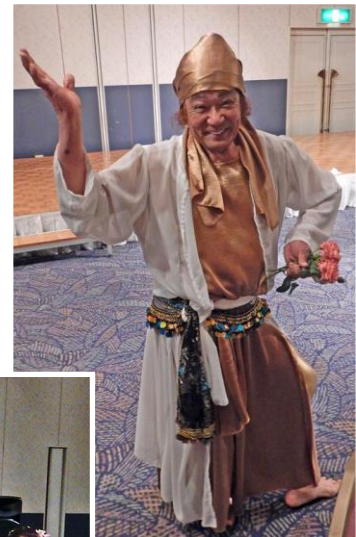
総会では長く懇話会会長をされていた福岡バラ会会長の小林正子様から佐世保ばら会会長の田中丸 栄子様へ交代が決まりました。そして、次回大会は佐世保ばら会が引き受けることになりました。

大会は例年どおりに楽しい懇親会とツアーが行われました。懇親会では元九州ばら懇話会会長の田中丸 喜彦様のハワイアンバンドの演奏や宮川 洋平様のフリースタイルダンスが披露されました。各ばら会からも歌の余興が披露されて楽しい懇親会となりました。ツアーは北九州市立響灘緑地グリーンパークのばら園と福岡バラ会会員の吉田 博美様のばら園を見学しました。

グリーンパークのばら園は何度か訪れたことがありましたが、更に手入れが良く出来ていて、満開のばらが出迎えてくれました。

吉田邸のばら園は公園のようなばら園でこれまた素晴らしいお庭でした。あまりに良く手入れされていて小生の庭のばらがかわいそうになりました。

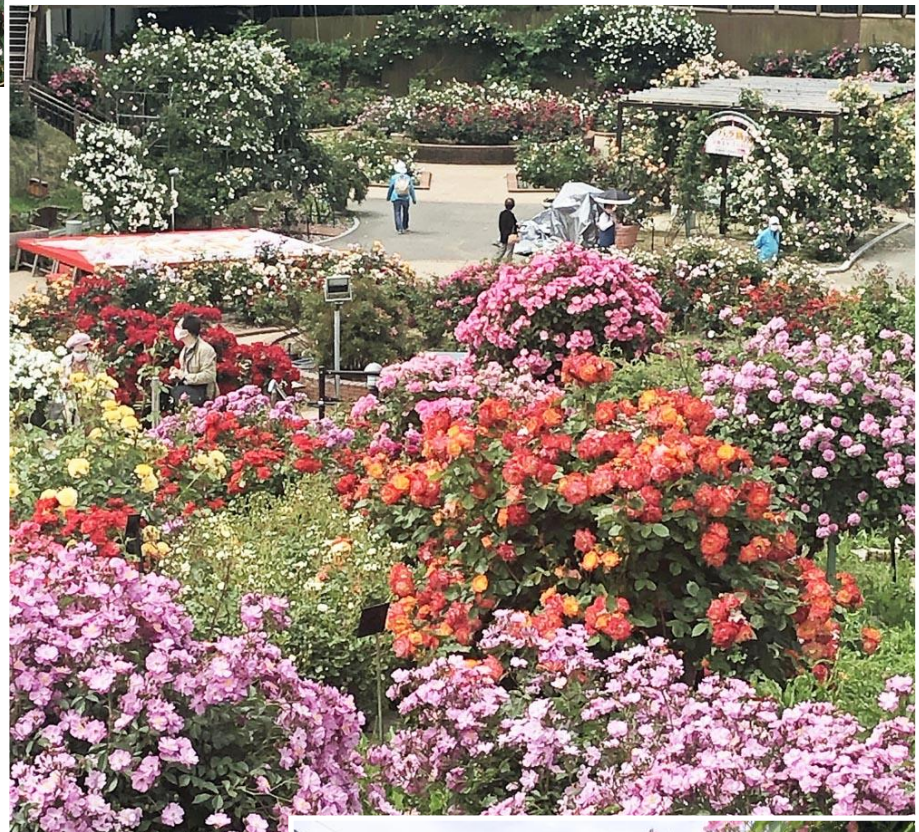
言葉で伝えることが下手ですので写真をご覧ください。





響灘緑地
グリーンパーク

良く手入れされていて、すばらしい
バラ園でした。



吉田邸バラ園

ばら会と私

No. 35 白石 英子

私と熊本ばら会の出会いは、5年程前の鶴屋のばら展です。くじで当たった花の枝をさし芽したところ生長しました。名前は昨年やっと出展の中で発見し「千代」とわかりました。今では3鉢くらいに増えています。



定年後の趣味にと思い3年前ばら会に入りました。仕事をしている時は朝の水やりが精一杯で気付いた時は随分虫にやられていました。

昨年よりやっとゆとりが出来て、朝夕の水やり、葉っぱの点検に目を光らせています。(チュウレンジバチの卵を見つけたらすぐに切って処分、虫を見つけたらペットボトルに入れて駆除)

今年は次々にバラが咲いて友人にプレゼントしたり、部屋にかざったり、

バラの花に心癒されました。

さし芽は上手になりましたが、接ぎ木がうまくいかないのです、来年はもう一度講習会で修得できるようになりたいです。

—家のバラには—

* アマガエル・・・花の中に居すわったり、葉の上にじっと乗っています。

(バラの葉の上でアマガエルがうまれてるかも～)

* カマキリ・・・堅いトゲの中もへっちゃらで茎の間を歩きます。

* スズムシ・・・葉の上で気持ちよさそう。

* バッタも現れます。

皆さん、対応どうされていますか？

—— 担当者より ——

我が家のバラにもアマガエルのお客様。

「お気のすむまで どうぞ～」

と、花柄摘みは後回しに。



かていほうもん 花庭訪問



ばら展を控えた5月1日。御船川沿いに車を走らせ、右手の堤防を少し下ると、羽衣、アイスバーグ、マサコ エグライティン、ラプソディインブルーが目飛び込んできました。

今日の目的地は松岡ゆう子さん、家族会員の一雄さんのお宅です。若葉の時季ですのでもちろんバラの花も葉も最高に綺麗です。でも、でも、生き生きと艶々に光った緑色の葉に目を見張るものがありました!!

—タネあかしは後程—

バラは露地栽培が約70株、鉢植えが大小さまざま50鉢くらいだそうです。

和風にしつらえた庭には渋い赤色のどうだんつつじや低く仕立てたアンジェラが咲き、洋風の庭にはご主人お手製のパーゴラに、ピエール・ドゥ・ロンサールがやさしく絡まり待ちかねたように咲き始めていました。中央にはオシャレなアーチが備えられ、通り抜けるとツルうららとクレマチスが迎えてくれます。

「これはばら会の講習会で習ったのですが」と1本のバラの株に案内されました。古く木質化したバフビューティに松岡さん好みの品種を接ぎ木されていました。ピンクの可愛いバラが見事に接がり風にゆれています。ちゃんと講習を自分のものにしてくださっていたことにととても感動しました。

バラの他には柑橘類、グミの木、アルプスの乙女（りんご）、ブルーベリー、オリーブ等の木々が植えられ、草花もあちらこちらにそちらに。根っからの植物好きのようです。



さて、先ほどのタネあかしです。



4種のボトルを見せていただきました。その中の1本は品名をバイオ・ワンプラスといい納豆菌を成分としたもので「有機物分解・土壌団粒構造の促進効果を期待するもの」と書かれています。製造、販売は熊本の会社です。

松岡さんはこれを数回葉面散布されたとの事で、葉の艶感はこの効果であろうと言われます。「梅雨の時期や真夏を越してみなければ」とご本人もちょっぴり不安感を残しつつも今の葉の美しさには十分満足!!そんな思いが伝わってきました。後日、経過をお尋ねしたいと思っています。

仕入れた情報を常に実践していく前向きさに私たちも見習わなくてははいけませんね。

文：やじ・きた



「九州ばら懇話会福岡大会」の講演内容

正村 正輝

福岡県糸島市に年間135万人が訪れて産地直売施設で日本一の売上げを誇っているところがあるという。毎週日曜日の朝にTBS系列のテレビ放送「がちりマンデー」でも紹介されたJA糸島の直売所「伊都菜彩」です。

そのJA糸島経済部部長補佐の古藤 俊二さんは「ドクターことう」と呼ばれ、土づくりや野菜栽培の指導、JA糸島オリジナル商品の開発をされています。

記念講演では土づくりと土壌改良資材のお話しや害虫防除のお話しを伺いました。短い時間でしたが為になるお話しを伺うことができました。以下に簡単に講演内容を紹介します。

1 植物栽培の新しい考え方と資材「バイオスティミュラント」

バイオスティミュラント（以下BS）とは日本語に直訳すると「生物刺激剤」です。近年、ヨーロッパから世界中に注目を浴びている新しい農業資材カテゴリーです。

BSは植物や土壌により良い生理状態をもたらす様々な物質や微生物のことで、これらの資材は植物やその周辺環境が本来持つ自然な力を活用することにより、植物の健全さ、ストレスへの耐性、収量と品質、収穫後の状態及び貯蔵などについて、植物に良好な影響を与えるものです。

2 肥沃な土壌をつくる腐植（ふしょく）について

腐植は腐葉土や有機物が微生物によって分解されてできるもので、土壌の団粒構造をつくる「のり」のような役割をしています。

腐植は暗色で腐植を多く含んだ土ほど黒くなります。真っ黒な森の土は腐植の割合が20%を超えることもあり、黒っぽい土は肥沃で、植物が育ちやすいのは、この腐植が大きな役割を担っています。

腐植の機能は「保肥力を高める」「土壌PHの緩和」「有害物質の吸着」「養分供給の助長」などです。

腐植物質は3つに分類されます。アルカリにも酸にも溶ける「フルボ酸」、アルカリに溶け酸に溶けない「フミン酸」、どちらにも溶けない「フューミン」です。

腐食酸を供給するには堆肥投入が考えられますが、一般的に堆肥に含まれる腐植酸は1～2%なので、BS資材の腐植酸液「ストラクチャー」（商品名）の施用は有効です。

3 BS資材「ストラクチャー」について

ばらを植え付けるときに土壌灌注処理をすると根の生育が良くなり、樹勢強化、花卉の充実、病害虫抑制の効果がある。

- 定植時に200倍希釈液に根を浸漬
（しんし＝液体にひたすこと）
- 生育中に200倍希釈液を根元にかん水



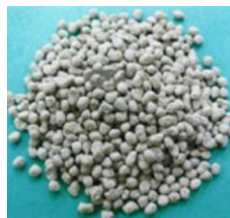
4 ばらの耐病性強化として「ケイ素」の機能

ケイ素には、植物体内細胞強化や葉面ワックスの強化の効果があり、うどんこ病など病害に対する耐病性強化が期待できます。

天然の有機物にはカリ成分が含まれておらず「ケイ酸カリ」の施肥は有効です。

ケイ酸カリ肥料は、石炭火力発電所で発生する微粉炭燃焼灰（フライアッシュ）に水酸化カリウム、マグネシウム源を加えて混合造粒・ふるい分けしたあと、約900℃で焼成し製造されます。これは世界で初めて開発された緩効性加里質肥料で、加里と苦土のほか、ほう素、石灰、鉄などがケイ酸と結合したユニークな肥料です。

ケイ酸カリ肥料の成分は、作物の根から出る根酸によって緩やかに溶ける「く溶性」なので、根にやさしく、加里のぜいたく吸収もなく、ほかの成分もバランスよく吸収されます。また、ケイ酸カリ肥料には、加里と苦土のほか、けい酸、ほう素、石灰、鉄など、作物に有用な成分が含まれています。土を荒らさず濃度障害も起こしません。ケイ酸カリ肥料は、副成分の硫酸イオンや塩素イオンを含まないため、連用しても土壌の塩類濃度を高めたり酸性化を進めることはありません。



【おまけ】

水道水にケイ酸カリを溶かして花を生けると長持ちする。

5 アザミウマ類（スリップス）の被害拡大について

近年、植物への攻撃型害虫として「アザミウマ類」による被害が拡大しています。特にばらに対しては「ミカンキイロアザミウマ」寄生被害が問題化しています。

薬剤への抵抗性の発現が高まり効果的な抑制が厳しい状況です。

その中で以下は防除が期待されます。

- 農薬「ダブルシューターSE」は2つの有効成分が働き抑制効果が期待できる。
- 微生物資材「メタリッチ」
(粉剤型の微生物剤で土壌に混ぜ込む。コガネムシの幼虫にも効果がある)
- 天敵昆虫剤「タバコカスミカメ」(天敵剤バコトップ：生きた昆虫剤)
タバコカスミカメは3mmほどの小さな昆虫でアザミウマの天敵です。
タバコカスミカメの好むクレオメを混植するとよい。

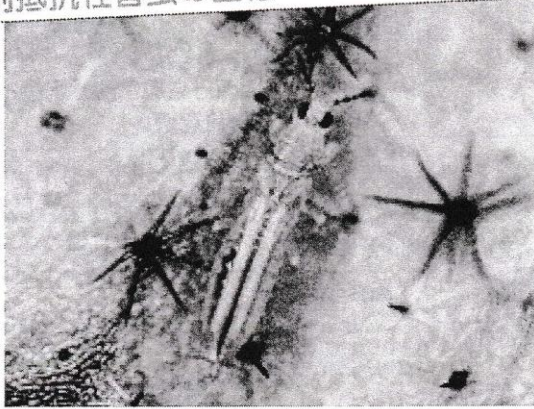


バコトップ



■アザミウマ（スリップス）の種類 （講演配布資料）

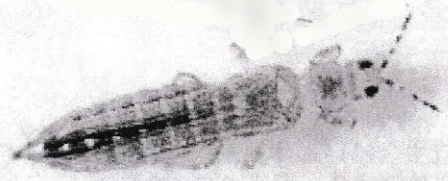
薬剤抵抗性害虫の王様 ミナミキイロアザミウマ



成虫（雌）は体長1.2～1.4mm。黄色く、羽をたたむと背中に黒いすじがあるように見える。寒さに弱く、寒地の露地では越冬できない。

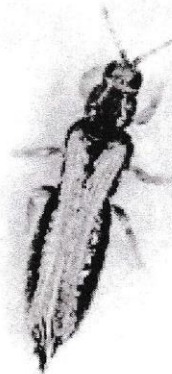
好物：ナスやピーマン、トウガラシ類、キュウリやスイカなどのウリ類が大好物。レタスなどキク科の野菜やマメ科、ハウレンソウも好き。

ナス科とバラ科が大好き
ミカンキイロアザミウマ



成虫（雌）は体長1.4～1.7mm。夏は黄土色で冬は茶褐色に変身。暑さにも寒さにも強く、周年発生する。

好物：ミカンも好きだが、じつはナス科の野菜やバラ科の作物はもっと好き。ネギアザミウマと同様、幅広く食べるが、アブラナ科野菜は食べない。



花や果実が大好き ヒラズハナアザミウマ

成虫（雌）は体長1.3～1.7mm。褐色～黒褐色で目立つ。露地では春～秋、ハウスでは周年見られるが、短日条件になると卵を産まなくなるため、冬は幼虫が発生しない。

好物：ピーマンなどのトウガラシ類、トマト、イチゴやバラが大好き。ナスやウリ科野菜、ネギ類、キク科、マメ科、ハウレンソウと幅広く食べ、果樹ではカキを食べる

ピーマンやマンゴーも食べ始めた チャノキイロアザミウマ

成虫（雌）は体長0.8～1.0mmととくに小さい。黄色くて、ミナミキイロと同じく、羽をたたむと背中に黒いすじがあるように見える。露地では春～秋、とくに夏場の発生が多い。

好物：茶やブドウ、カンキツやカキなどの木本類が好物で、野菜ではイチゴを食べる。最近、一部地域でトウガラシ類やマンゴーも食べる新系統が発生。



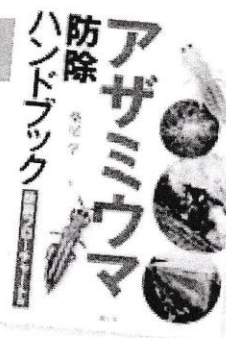
■アザミウマ（スリップス）の防除（講演配布資料）

アザミウマ別 効く農薬と効かない農薬



農薬ラベルに「アザミウマに効く」って書いてあっても、うのみにはできないわよ。アタイたちを倒したかったら、ちゃんと効く農薬を選ぶことね

柴尾学さんの新著『アザミウマ防除ハンドブック—診断フローチャート付』（本体2200円+税）が農文協より好評発売中です。



5大アザミウマの薬剤感受性

系統	農薬名	ネギアザミウマ	ミナミキイロ	ミカンキイロ	ヒラズハナ	チャノキイロ
有機リン系 1B	オルトラン		×	×~○	○	○~○
	ダイアジノン	○				○
	トクチオン			○	○	
	スプラサイド			○~○	○	○
	スミチオン	○	×			○
カーバメート系 1A	マラバッサ	○	○	○		
	ランネート	○~○	×	○~○	○	
ネライストキシン系 14	パダンSG		○	○~○	○	○
	エビセクト			○~○	○	
ピレスロイド系 3A	アーデント		×	×~△		○
	トレボン	○~○	×	×	×~△	
	アグロスリン	○	×	×	○	○~○
	ハクサップ		×	×~△	○	
ネオニコチノイド系 4A	アディオン	×~○	×			△~○
	モスピラン	×~○	×~○	×~○	△~○	○
	アドマイヤー	○	×~○	×	×	○
	ダントツ	○	×~○	×		
	スタークル	△	×~○	×		
	アクタラ	△	×~○	×		
その他	ベストガード		×~○	×	×	○
	アファーム	○~○	○	△~○	△	
	コテツ	×~○	×~○	×~○	○~○	○
	スピノエース	○	×~○	○	○	○
	ハチハチ	○	×~○	△		
プレオ	○	×~○	○			

○：補正死亡率が90%以上、○：同70～89%、△：同50～69%、
×：同50%未満、空欄：調査なし



月々の手入れ



7月～9月の手入れを簡単にまとめました。詳細は配布しています「ばらの手入れ」でご確認ください。

【庭植え】

7月	8月	9月
<p>■定期病害虫防除 雨に濡れると黒星病(黒点病)になります。病害を防ぐには雨の前に1週間～10日ごとの定期防除をします。害虫も見つけたら定期防除に組み込みます。</p> <p>■お礼肥 6月に与えていなければ7月上旬に有機物肥料を撒きます。マルチングを兼ねて堆肥(チッソ量1%程度のもの)を株の回りに敷いてもよいです。</p> <p>■敷きわら(マルチング) バラの回りの表土に敷きわらをします。ピートモスやバークなどでもかまいません。表土を覆うことが重要です。</p> <p>■シュートピンチ 株元から伸びてきたベーサルシュートや途中シュートを良い枝に仕立てるために早めにソフトピンチします。つるバラのシュートは折れやすいので真っ直ぐ上向きに誘引します。</p>	<p>■シュートピンチ シュートのソフトピンチを続けます。シュートの段数が多くなると枝が折れやすいので支柱をします。つるバラのシュートも折れないように誘引します。</p> <p>■枝の整理 シュート(枝)が増えてきたら古い枝や懐枝など不要な枝は切り取ります。</p> <p>■定期病害虫防除 気温が高いと病害虫の活動も低下してきます。高温での農薬散布は薬害の発生もありますので薄めで散布します。病害の発生状況や発生を感じたら定期防除を行います。雨が少ないとハダニが発生しやすくなります。ハダニは葉の裏にいますので葉の裏を観察します。ハダニにはハダニ専用の農薬を散布します。</p> <p>■水やり 雨が少ないと生理現象で葉を落とすこともあります。雨が長く降らないときはたっぷりと水やりします。</p>	<p>■秋の剪定 遅咲きは8月下旬から、早咲きは9月上旬から中旬にかけて、秋花を咲かせるための剪定をします。基本はシュートの段数の最上段か1段下の中間あたりの良い芽があるところで剪定します。8月中旬以降に伸びたシュートを9月上旬にピンチしての秋の剪定の代わりにしてもよいです。</p> <p>■定期病害虫防除 過ごしやすい気温になってくると病害虫の活動も活発になります。1週間～10日ごとの定期防除を続けます。秋花をきれいに咲かせるために花を汚くするスリップスに注意します。蕾が開いて蕾の中にスリップスが入り込む前に防除します。殺虫剤はスリップスに効果がある農薬を定期防除に混用します。また定期防除の間にも単用で蕾を中心に散布します。</p>



コガネムシとカナブン



正村 正輝

コガネムシとカナブンは同じ昆虫と思いませんか。私は同じ昆虫と思っていました。ところがその性質は違っていたのです。コガネムシの成虫は生きた植物の葉や花を食べて幼虫は根を食べる害虫ですが、カナブンの成虫は樹液や腐った果実を食べて葉や花は食べません。幼虫は腐葉土や堆肥を食べてそのフンは土の団粒構造をつくる益虫だったのです。

コガネムシもカナブンも「甲虫目>カブトムシ亜目>コガネムシ科」の昆虫ですが、その違いをまとめてみました。

1 コガネムシ科の主な種類

※コガネムシの仲間は害虫、カナブんとハナムグリの仲間は益虫です。

コガネムシの種類	カナブンの種類	ハナムグリの種類
コガネムシ	カナブン	ハナムグリ
マメコガネ	アオカナブン	アオハナムグリ
ヒメコガネ		コアオハナムグリ
ドウガネブイブイ		クロハナムグリ
ヒラタアオコガネ		ヒラタハナムグリ

2 成虫の見分け方

	コガネムシ	カナブン	ハナムグリ
体型（頭、身体）	丸っこい	角張っている	角張っている
羽の付け根の形	半円形	逆三角形	逆三角形
飛び方	前羽を開いて飛ぶ	前羽を閉じて飛ぶ	前羽を閉じて飛ぶ
身体の色	光沢がある	やや落ち着いた色	羽に斑点模様

※前羽は表面の硬い羽、後羽は前羽の下にたたまれた羽で飛ぶときは開いて飛ぶ



ハナムグリの仲間は羽に斑点がある



【マメコガネ】



【ハナムグリ】

3 コガネムシ、カナブン、ハナムグリの性質

	コガネムシ	カナブン	ハナムグリ
成虫の食べ物	葉、茎、花	樹液、腐った果実	花粉、花の蜜
幼虫の食べ物	植物の根	腐葉土や堆肥	腐葉土や堆肥
卵を産むところ	土の中	土の中	土の中

編集後記

(正村)

熊本ばら会は発足70周年を迎えました。戦後できた熊本ばら会から分かれて昭和27年に「熊本バラ同好会」発足しました。そして元の熊本ばら会は消滅してしまいました。その後昭和51年に名称を「熊本ばら会」に改称しています。

昭和27年という春と秋のばら展で大変お世話になっている鶴屋百貨店様の開店の年になります。鶴屋百貨店様の文化活動へのご厚意で第1回春のばら展から開催させて頂いています。そして今年は鶴屋百貨店様と共に70周年を迎えることができました。70周年を迎えることができましたのも会員の皆様の支えや鶴屋百貨店様のご支援、ばら展を楽しみに見に来て頂ける県民の皆様の支えがあったからです。

さて、本号は会報250号になります。会報の編集は2003年に前任者から引き継ぎました。2003年は奇しくも発足50周年の年です。早いもので20年も経ってしまいました。編集は、途中で九州外に単身赴任した際は役員に引き継ぎましたが、退職して熊本に戻ってからは再び担当しています。

会員の皆様に満足のいく会報になっているのか疑問ですが、興味をもって読んで頂ける会報になるように今後も頑張っていきたいと思えます。

今回の会報も前号に続いて会のプリンターで印刷しました。250号という節目の号であること、熊本ばら会発足70周年であること、春のばら展や九州ばら懇話会の写真をカラーで見たいこと、そんなことで頑張った会のプリンターで印刷しました。プリンターに無理をさせたくないのですが、やっぱりカラーはいいですね。

とはいってもプリンターに長生きしてもらわないといけませんので、次号からは印刷会社をお願いしてモノクロ印刷に戻します。

尚、会のホームページでは会報をカラーでご覧頂けますので、ホームページをご覧頂ける方は会員の部屋でご覧ください。会報アーカイブも入れています。

あっ！そうでした。ホームページのリニューアルもしないといけなかったのです。70周年ですので自分のケツにムチ打って頑張りまーす。

ばらだより 通巻250号 2022年7・8・9月号

発行 熊本ばら会
会長 前田 宜重
事務局 正村 正輝
会報担当 正村 正輝

問合せ用Eメールアドレス
info@kumamoto-rose-society.org

熊本ばら会ホームページ
<http://rose-society.life.coocan.jp/>